

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail: XLZ02133@nifty.ne.jp
URL: https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇平成30年度「みんなの研修会」を終えて 2~3P

北九州市障害福祉ボランティア協会

常任委員 高橋 朱美

◆戸畑区 防災訓練に参加して 4P

豊田 文子

◇ボランティア物語 99

二つの「やめた」

宮崎 浩

好評
連載中!!

◆福祉のまちづくりネットワークプロジェクト 5P

リレーレポート⑨

「タイミングが大事」

北九州市身体障害者福祉協会 事務局長 松本 大史

◇MYフレンド 6P

ボランティア協会パソコンサポーター 中村 忠能

◆「ゆく年 くる年 まごころ募金」 7P
ありがとうございました

◇表彰おめでとうございます!! 7P

佐野 哉夫 さん

◆協会カレンダー 8P



座標軸

「障害者は頑張れる人？」

障害のあるアスリート報道を多く目にするようになりました。いよいよパラリンピックが来年に迫つて来たからです。しかし、昨年末の新聞記事を目にして意外に思えたことがありました。この春から中学校で道徳が正式教科になると紹介され、教科書の中に「15歳の時の事故で車いす生活となった男性が会社勤めをしながら車いすレースに出場する。ついには、パラリンピックでメダルを獲得して、プロとして独立」と載っているそうです。

こうした内容は常に美談として扱われます。障害を克服するために悲しみや苦しみを経験し、排泄、褥瘡などの自己管理に努め、自らの身体に慣れ、そこから立ち上がっていく過程があったからこそ今がある訳です。けれども、障害によっては忘れていくのではなく、そう出来ない人も多いことも事実です。

コメントされた方は「怠けたり、弱さに勝てなかつたりするのは、自分の頑張りが足りないからだ」という自己責任論とセットになりやすい」と批評されていました。

頑張っている人だけを美談として取り上げることよりも、日々の生活を生きていく中で生きづらさを感じながら頑張つて生きている様々な障害のある人たちがいることを、もっと伝えていきたいものです。

(K・O)

平成30年度 みんなの研修会を終えて

北九州市障害福祉ボランティア協会 常任委員 高橋 朱美

平成31年1月20日(日)に例年行われているボランティア協会主催の「みんなの研修会」が東部障害者福祉会館でありました。

本年度の参加者は、役員、会員、職員合わせての15名でした。



最初に岡田理事長のあいさつではじまり、次に参加者1人ずつ全員に「マイブーム」を加えた自己紹介をし

てもらいました。みなさん、それぞれにいろんなマイブームがあり、参考にしたいものもたくさんありました。

【一部 研修会】

「障害のある人を支援するボランティアを増やすためには！」

今回はA・B二つのグループに分かれ、グループワークにとりかかりました。

まずは、テーマに沿ってボランティア協会のコーディネーターの鈴木・酒井・船寄の3名から日頃のボランティア協会の相談紹介活動の報告と課題が投げかけられました。

『事例①』

特別支援学校の生徒を対象とした「障害児の長期休暇対策事業」のサマースクールには、子どもたちと遊んでくれるボランティアを募集す

ると50名くらいのボランティアが集まってくれるが、サマースクールが終わると、連絡もとれずその後のボランティア活動にはつながってこない。



『事例②』

毎年11月に開催される国際車いすバスケットボール大会にも毎年約130名のボランティアが応募してくれるが、事前の研修も受けてくれない人や、当日の役割が決まっているにもかかわらず、個人的な用事で活動途中で活動を止めて帰る人などもある。確かに、ボランティア活動は、仕事で

はないが、一度ボランティア活動をするという約束したら、責任を果たしてほしい。

『事例③』

施設に入所されている方から外出支援の依頼が入ってくるが、ボランティアの募集をする、1対1の支援でもあり、ハードルが高いと思われるのか、なかなか活動を希望する人が少ない。

以上の三つの課題にそってグループワークが進められました。

その後、二つのグループからの報告として障害者関係のボランティア活動のように、人と人との関係づくりを求められるような活動は敬遠され、災害時ボランティア活動には多くのボランティアが集まるのは、あまり人と人との関わりがなくても出来るからだろうか？ボランティア活動をするポイントが多いうのはポイントがもらえるからだろうか？

障害福祉関係は、今は仕事でするという考え方を持っている人が多いみたいなので、ボランティア活動みたいなあまりお金にならないこととはしない傾向にあるのではないかな。



それと二対一の介助を含むようなボランティア活動は、介助研修を受けていないような人にとっては、技術に自信がなく遠慮をしてしまう。事前に顔なじみになるような関係づくりまでは、ボランティアの人も望んでいない。

学生のボランティア活動についても、高校生のボランティア活動は高校2年生からは学校行事が多く高校1年生の夏休みしかできない状況である。

高校生ボランティアサークル「のぼら」の活動が活発なのは、友達が友達をつれてくることや、コーディネーターの宮崎さんがお兄さんもしくはお父さんのような関係を築いているからではないかとの意見が出されました。

「二部 みんなで話そう」 「31年度事業計画」

次に来年度の事業はどんなことをしようかということで見解を出し合いました。

ボランティア協会の事業を推進するため、「のぼら」のような若い人のグループを立ち上げたり、まちづくりの点検活動などに関わる多様なニーズに対応するボランティアグループをつくっていったらいいのではないだろうか。

会員もボランティア協会が担当している「国際車いすバスケットボール大会」のことを知っている人が少ないように思う。

また、ボランティア協会が中心になつて作った、障害のあ

る人ない人が一緒にチームを作つて競技をする北九州発祥の「ふうせんバレーボール」も知らない人がいると思うので、来年度は、ボランティア協会に関係のある障害者スポーツを一緒にやってみよう。



啓発事業にも力をそそぎ、宣伝力・実践力をつけていく。

その他には「障害者パソコンサポーター養成派遣事業」のようにIT支援事業をしているので独自のアプリの開発をすることや、大学教授の論文の提供や、ボラ協の会報「でんしょ鳩」に連載されている宮崎さんの「ボランティア

物語」を含め、本の出版をしていったらいいのではないかなどの計画が提案されました。

【見えてきた課題】

今年度の会員研修会では「障害のある人を支援するボランティアを増やすためには！」をテーマにして話し合われましたが、以前は、車いすを押すのも、視覚障害者の手引きをするのも、ボランティア活動が中心でしたが、制度が充実するにつれ障害者支援は、仕事だと考える人が多くなっています。

ボランティア講座の受講生を募集しても「ヘルパーの資格がもらえますか？」の問い合わせに対して「ヘルパーの資格がもらえる講座ではないので」と答えると、申し込みをしなかったり、施設に入所されている方から外出支援の依頼がありボランティアを募集すると「施設が仕事でするのではないですか？」と断られたりします。制度だけで生活支援がすべてできるわけ

ではありません。必要とされている障害者支援が多くあるのにそのことが知られていません。困っていることがわからないと、支援をしようという気がおきません。



また、最近の課題としては、障害のある人の余暇支援が問題になっています。余暇のことは趣味のことなので生活支援とは違う、それほど重要ではないのではないかと考えている市民は多いのではないのでしょうか。しかし、障害のある人にとっては、余暇は大切な生活の一部なのです。そのことを、まわりに理解を求めていくことも大切なボランティア活動だと思います。

★H30年度 視覚障害のある人の外出支援ボランティア体験講座★

様々な理由で外出をあきらめてしまう視覚に障害のある人をサポートするボランティア講座です

◎日時：平成31年2月24日(日) 10:00～15:00

◎場所：ウェルとばた6階研修室6AB(戸畑区汐井町1-6)

◎対象：高校生以上 費用：500円(資料・弁当代) 定員：先着20名

◎内容：・視覚障害ガイド基礎知識(講義)・当事者からのお話・昼食交流(お弁当の情報提供体験)・ガイド体験(歩行体験)・ボランティア活動のルールとマナーなど

◇お問合せは・・・公益社団法人 北九州市障害福祉ボランティア協会

TEL：093-882-6770 FAX：093-882-6771



平成31年1月19日(土曜日) 戸畑区で防災訓練が行われました

- ・実施場所／戸畑中央小学校
- ・訓練目的／地域住民の自主防災能力の向上と避難所運営体制の構築並びに市対策部、区対策本部及び各関係機関との防災体制の連携を図るため

防災訓練に参加して

豊田 文字

戸畑区で開催された防災訓練に、障害福祉団体連絡協議会からのお誘いで参加しました。防災関係の経験は何回かありますが、思うところもあり、参加して皆さんの貴重なことを学ばせてもらいました。



近年の災害の多さから、あちこちで防災訓練が盛んに行われていますが、いつも思うのは、対象者がほとんど一般の

人向きだということです。それはそれでとても大事な事だと思いますが、何か起きた時、一番の防災弱者である障害者への対策、対応の仕方が考えられていないような気がしてなりません。今回は障害者の参加が16名(支援者含む)とのこともあり、ひそかに期待しての参加でした。

私は、聴覚障害者で、別名情報障害者とも言われています。災害時の一番大切な情報が届きにくく取り残されがちです。避難指示の広報車が回つて来ても、聞こえる人が側に居なければ放送が分からないまま、逃げ遅れてしまう事もあるでしょう。この事をどう解決すべきか? ことある毎に、行政や消防署に要望しています。しかし進展は感じられないまま、自衛として近所付き合いを大切にしたい、いざという時は知らせてもらう環境づくりが大切だ。と思い、お隣に頼んでいます。ところがある日、私の住ん

でいるアパートで火事が起きた時、外で大騒ぎになっている音が聞こえず、長時間1人取り残されると言う経験をした後、後でお隣に、「教えるのを忘れててごめんね」と言われ、必ずではないにしても、人は緊急時はパニックになりやすいと言う事を学びました。

ひと口に障害者対策と言っても、障害の種類も、困る内容も千差万別。すぐ叶うものではないかも知れないけど、ことある毎に当事者の声を届ける必要性を感じました。



当日心に残った

1. 自助
2. 共助
3. 公助

の言葉の深さを考えながら、これからも自分の命を大切に頑張りたいと思いました。

広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
<http://www.sakaieiei.co.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。
このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

ボランティア物語

-99-

二つの「やめた」 宮崎 浩

マザーテレサと握手した。

優しくキッと握られると、柔らかに冷やりとした。

「この手で何人もの命を救ったのだ」と思うと、彼女の手の感触は今も忘れられない。

その後、いくつか話しかけられて「日本での仕事は何と尋ねられた」ときに「ソーシャルワーク」と答えると彼女からじつと見つめられて「貧しい人を愛しなさい」と告げられた。

以来、この言葉は僕にとって最高の支えになっている。

この出来事から三十年余。今もソーシャルワークに関わる仕事や活動が続いていて、くじけそうになると「貧しい人を愛しなさい」と口ずさんできた。同時にこの言葉の意味を探ることが課題にもなっており僕を悩ませている。

「貧しい人」とは、誰のことを指すのだろうか。

う。これを個人の責任にしていたら、ソーシャルワークは存在しない。次に「愛する」とは、どういうことなのだろうか。

マザーテレサは言っている。

「愛したいと願うなら、許す事を知らなければなりません」

この許す事を知るために、僕なりに心がけていることがある。それは「二つの「やめた」」。

一つは、怒るのをやめた。自分の感情を整えていれば、相手の個性が見えてくる。

相手の気持ちが読み取れる。二つ目は、嫌うのをやめた。

自分の器量を大きく持てば、相手を裁かず話が聴ける。相手の決心を信じて待てる。相手との秘密ができる。

二つの「やめた」は、ソーシャルワーク七つの原則に通じているように、僕はずっとこの難題に立ち向かっていると感じた。

「貧しい人を愛しなさい」まずは何をすべきかマザーテレサは教えてくれている。

「笑顔は愛の始まりです」

※宮崎さんは昭和六十一年二月、当会の職員時代にマザーテレサの施設「死を待つ人の家」で二週間研修しました。

福祉のまちづくりネットワークプロジェクト

(リレーポート⑨)

「タイミングが大事」

北九州市身体障害者福祉協会

事務局長 松本 大史

まちづくりネットワーク(まちネット)は、いろいろな障害の人が集まり、誰もが住みよいまちづくりのために道路や施設の整備に関する点検活動や意見交換を行なっています。

バリアフリーの整備を行なうにあたっては、整備する側と利用する側との意見交換の時間を事前にどれだけ多く確保できるか、無駄のない施設整備のために必要な事です。

2020年に完成予定の桃園市民プールは、行政の整備担当部局からまちネットに対して事前に意見交換の打診をいただき、計画段階から障害のある利用者やその家族、関係者等との話し合いが持たれ、より良い施設整備のために、意見交換と計画の修正を繰り返しながら完成に向けて進んでいます。

しかしこのようなケースはまれで、事前の意見交換が行われることはまだまだ少なく、意見交換が一度もないまま施設整備が終わったタイミングでまちネットに点検活動を依頼され、問題点を指摘しても完成後すぐには改修できないという苦い経験をこれまで何度もしています。



わざわざ高いお金をかけてバリアフリーの整備を行なったにもかかわらず、利用者にとって使いづらい、もしくは使えない施設となるのは本末転倒な話です。

完成後に工事をやり直すほどもったいないことはありません。それがもし税金であるならなおさらです。無駄を極力抑えるには話し合いのタイミングが大事なのです。

【広告】

全ての障がい者の方へ



働

私たち列島会は
全力でサポートします
くよろこびを!

一緒に一般就職を目指しませんか?

当事業所のトレーニングシステム



障がい福祉サービス事業所

就労支援
多機能型

働きたいあなたのやる気をサポートします!!

- 創造館クリエイティブハウス
小さなしあわせ スマイクリー各店
(ウェルとばた店・コムシティ店・アレアス店)

就労継続支援 A 型事業・就労継続支援 B 型事業・就労移行支援事業
[住所]北九州市小倉北区大島1丁目7-25 [電話]093-512-5777
[受付担当窓口/スエヒロ・ハマダ]

- ワークステーション八幡
就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業
[住所]北九州市八幡西区真名子2丁目5-21 [電話]093-616-0456

詳しくはHPをチェック!

列島会 検索 <http://souzoukan.net>



今回は、四年前からボラ協のパソコン・サポーターとして活動していただいています中村忠能さんをご紹介します。

—プロフィールは—

佐賀県生まれ。先天性の網膜色素変性症で弱視です。進行性の病気ですが視力はほとんど変わっていません。高校までは盲学校。そこで点字や歩行訓練等視覚を使わず生活できるスキルを習得しました。卒業後視覚障害者が学ぶ筑波技術短期大学に入学しプログラマーを目指しました。一九九九年四月、有限会社化成フロンティアサービス(現 化成フロンティアサービス株式会社)に就職しました。

—現在の仕事は—

事務職としてテープ起こし、障害者や高齢者にも使

やすいホームページやブログの作成、点字名刺の作成等を行っています。委託事業として福祉用具プラザ北九州で週2回当事者相談員もしています。

—パソコンに興味を

持ったのは—

中学時代画面を読み上げるソフトの入ったパソコンとの出会いがきっかけです。

—パソコン・サポーターの

活動は—

年一回の養成講座・フオローアップ講座の講師を四年間務めています。



なかむら ただやす 中村 忠能さん

幸せはいつも自分の心が決める

ます。他視覚障害者用ソフトや製品の紹介等。パソコンだけではなくアイフォンの使い方も教えています。視覚障害者にとってパソコンは、人に頼まず自分の好きな時間にネット検索できる情報収集に欠かせないコミュニケーションツールです。スマホやアイフォンでできること

も増えています。読み上げソフトも少しずつ進化し、音声で操作できるソフトもあります。私自身は仕事でパソコンを使うので仕事以外はアイフォンです。アイフォンはいろいろなアプリを追加できるので便利です。自分がやってみてうまくいった操作方法や使えるアプリを伝えることで、身近に相談できる当事者でありたいです。

—他の活動は—

福祉用具プラザ北九州ではパソコンやアイフォンの基

本的な使い方や、視覚障害者の方へのよろず相談のほか、点字講習会も担当し、点字の読み方、書き方等の一般的な知識を教えています。音声案内も増えています。点字は文化でありできる人が伝えているかといけないと思います。

「キャリアアセンターあい」で

は視覚障害者の就労のあり方を考えたり、就労支援のための講習会や講演会を企画などして実施しています。

—趣味を教えてください—

週一回は家でゆっくり点訳・音訳・アイフォンからダウンロードして読書をします。ファンタジーから心理学(交流分析)まで幅広いです。交流分析は講座に参加し三つ資格を取得しました。将棋も好きでテレビ番組も見ます。ゲームを楽しみたいのですが、なかなかいいソフトがなく残念です。

—今後やりたいことは—

職場には視覚障害者以外の障害者がいます。私自身先輩に助けられて二十年続けて来られたので、これからは職場内ジョブコーチとして支える側になるために、カウンセリングの勉強を継続し資格取得の講習会にも参加したいと思っています。

聞き手 森山 幸恵

【広告】

車いすが使える住まい

住まいの建築から福祉機器までトータルに
高齢者・障がい者(児)の方々のための住まいの設計・施工
(ホームページに事例を掲載しております。)

株式会社 神崎工務店

新築・リフォームから小さな工事まで

TEL (093) 921 - 5562
福祉住宅専門店

お気軽にご相談下さい



「ゆく年 くる年 まごころ募金」 ありがとうございました

今村 修 宇都宮慎吾 大曲千代子 岡 徳博
 岡崎美智子 小川 幸一 鹿子嶋初美 清原 雅幸
 栗山 高子 香田 小茅 古賀由美子 小林 芳子
 定野 陽一 志賀 幸則 中島 英恵 中原 祐子
 長野 陽子 西村 邦子 早崎 寿宏 増田 恭一
 宮崎 育恵 山本 悦子 吉武 寿洋 吉本 茂行
 株式会社加来文機 有限会社コア
 NPO法人福祉事業大輪の花 障害者支援施設ちづる園
 西本建設工業株式会社



他匿名13名(敬称略)

ご寄付総額
336,000円
(2月10日現在)

年末から実施の「ゆく年 くる年 まごころ募金」に
 たくさんのご寄付をいただきました。会員をはじめ多くの
 皆様がボランティア協会を支えてくださっていることに心
 より感謝申し上げます。
 皆様のお気持ちを大切に、障害のある人もない人も、と
 もに、誰もが暮らしていける社会をめざして、地域の中
 で役割を果たしていくために使わせていただきます。
 ご支援ありがとうございました。

第25回

北九州ボランティア顕彰

佐野 哉夫 さん

表彰おめでとうございます!!

ボランティア顕彰とは

高齢化や国際化など近年における社会の変化を背景
 として、ボランティアの活動分野也多岐にわたっていま
 す。私共は、北九州市において顕著な活動をされた個
 人や団体を顕彰することにより、ボランティア活動の一
 層の定着と充実向上に微力を尽くすものであります。

(1994年3月)公益財団法人 芳賀文化財団ホームページより

佐野さんは、ボランティア
 協会の戸畑ブロック」とびは
 た村」の村長としての活動
 や、国際車いすバスケットボー
 ル大会会場運営班のリーダ
 ーを永年続けてこられた活
 動などが認められました。



平成30年12月6日(木)
 に八幡東区大谷会館鳳凰
 の間で、永年のボランティア
 活動の功績に対し、佐野哉
 夫さんが表彰されました。

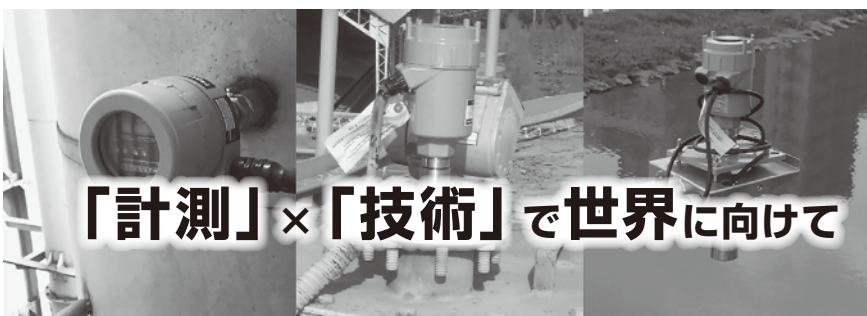


広告

Matsushima
 Matsushima Measure Tech

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837
 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
 TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
 URL <https://www.matsushima-m-tech.com>
 E-mail sales@matsushima-m-tech.com



「計測」×「技術」で世界に向けて

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

古賀由美子 恒成美津江

福岡県立小倉工業高等学校インターアクト部

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

鶴池 皓代 牛島実基子

公文真理亜 下田 猛

中西みどり 永井 久子

伴仲サチ子 増田 恭一

カトリック天神町教会

曹洞宗興禅寺

永犬丸市民センター

竹末市民センター

相談支援事業所すてら

東部障害者福祉会館

八幡西区役所保護課

八幡西区社会福祉協議会

ボランティア市民活動センター

新ケミカル商事(株)

ボランティア登録者について

ボランティア活動情報やイベント・研修等の
情報提供を電子メールで受信していただい
ているボランティア登録者の皆さまへ
次年度の継続更新をお願いします。

**【ボランティア活動保険】もH31.3.31で満期
となりますので早めの更新をお勧めします。**



この機会に登録者から正会
員に変更していただく方も
大歓迎です!!また、新たな登
録者も同時に募集します。



登録希望の方、
お問い合わせは事務局
XLZ02133@nifty.ne.jp まで

ボラ協の最新情報は、
ホームページやフェイスブックに随時
更新しているので、ご覧ください!

協会カレンダー

2月

3日(日) 障害福祉団体連絡協議会 設立20周年記念式典・祝賀会

6日(水) 第16回障害者パソコンサポーター養成講座開講式(全10回)

15日(金) 会報221号発行

19日(火) 北九州市人権施策審議会(古賀)

20日(水) 障害者IT支援研修会&意見交換会

福祉のまちづくりネットワークプロジェクト勉強会

22日(金) ザ・チャレンジII(後援事業)
(障がいのある人もない人も楽しいマジックショー)

24日(日) 視覚障害者の外出支援ボランティア体験講座
(東部障害者福祉会館・「ゆう・あい」共催事業)

27日(水) 中間支援組織連絡会(竹田)

28日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

3月

9日(土) 第16回障害者パソコンサポーター養成講座閉講式

13日(水) 常任委員会

20日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会

障害者の余暇活動支援者連絡会

25日(月) 平成30年度第二回北九州市障害者差別解消支援地域協議会

26日(火) 定例理事会

28日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

4月

15日(月) 会報222号発行